

ごあいさつ



松山市文化協会会長  
土居 英雄

みずみずしい新緑の季節に、「第29回二之丸薪能」が盛大に開催されますことを大変喜ばしく思います。このたびは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2年間延期しての開催となりました。能楽ファンの皆様は心待ちにされていたことと存じます。再開にあたり、公益社団法人愛媛能楽協会をはじめ関係者の皆さまに大変ご尽力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、遠く奈良時代の民間芸能にその源を発する能楽は、室町時代に観阿弥・世阿弥父子によって、芸能として磨きあげられた日本を代表する舞台芸術です。江戸時代には、幕府の式楽としても催されるようになり、技法もますます高度に完成されてまいりました。人の行動や心の動きを一切の無駄を省いて象徴的に舞うその技法は、様式美の極致であり、伝統的な能面や衣装、重厚な地謡や囃子等と渾然一体となつて、観る人々を幽玄の世界へと誘います。

今宵は、かがり火に映える舞台でその魅力を余すことなく堪能していただければ幸いです。

### 第二十九回 二之丸薪能

能 組

舞囃子(宝生流)

紅葉狩

宮内 眞子

大鼓  
小鼓

早田 サチ子  
丹下 紀香

笛

武田 薫

地謡  
戒能 澄子  
稲田 広子  
松本 久美

岡田 康子  
石黒 実都  
結城 千恵美

舞囃子(金剛流)

安宅

丹原 美千代

大鼓  
小鼓

早田 サチ子  
丹下 紀香

笛

豊島 正憲

地謡  
眞鍋 清  
宇高 徳成  
宇高 竜成

狂言(大藏流)

素袍落

太郎冠者 古川 道郎

主 佐々木 泉  
伯父 古川 喜朗

後見 谷本 満也

(火入れ式)

舞囃子(喜多流)

敦盛

奥村 敏仁

大鼓  
小鼓

早田 サチ子  
白石 みなえ

笛

奥村 博子

地謡  
古川 瑞江  
松本 真知子  
上岡 素子  
近藤 トクミ

清家 佳代  
澤田 満知子  
金子 匡一  
矢野 順子

能 (観世流)

シテ 徳本 泰子

羽衣

ワキ 坂苗 融

大鼓  
小鼓

岡本 靖  
丹下 紀香

太鼓  
笛

前川 光長  
豊島 正憲

地謡  
坂本 美恵  
辻田 桂  
兵頭 登美子  
三好 君枝

上野 朝彦  
上野 朝義  
藤井 完治  
藤井 丈雄

附祝言

後見 長山 耕三  
田中 章文

終了予定 午後八時半頃

ごあいさつ



松山市長  
野志 克仁

新緑の風薫る爽やかな季節を迎え、二之丸薪能が開催されますことをお喜び申し上げます。

主催の松山市文化協会をはじめ、開催に当たり御尽力いただいた公益社団法人愛媛能楽協会や関係者の皆様には、厚くお礼を申し上げます。

松山では、能楽は江戸時代に藩が手厚く保護して隆盛を極め、明治の存亡の危機を乗り越えて現在まで受け継がれてきました。今では市民から親しまれる伝統行事としてしっかり定着し、松山城二之丸史跡庭園で、磨き抜かれた見事な舞台を堪能できることをとてうれしく思います。

さて、松山市は、先人たちが築き上げてきた、文化をはじめ地域の特性や宝を、更に発展させるため「坂の上の雲」のまちづくりを進めています。皆様には、引き続き御支援をいただきますようお願い申し上げます。

今宵は、歴史の記憶を残す石垣を背景に、かがり火に映える幽玄の世界を存分に味わっていただけることを願い、私の挨拶とします。

令和四年五月十七日 午後六時始め  
松山城二之丸史跡庭園内特設能舞台